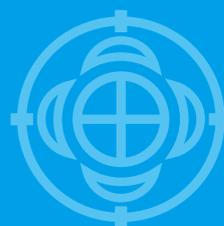




町の人口を上回る来場者で賑わった「第30回にんにくとべごまつり」

田子町 議会だより

2015



第85号

平成27年10月21日発行
青森県田子町議会

目次

認定するが課題も （平成26年度決算）	2
一般質問に3議員登壇	6
田子高校存続に向け迅速に	9
定例会は欠かさず視聴 （町の人にインタビュー）	12

第3回定例会
あきらまし

9月定例会は9月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、条例改正や補正予算案など、専決処分報告や決算の認定を含む11件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。

7日の一般質問には3人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。

8日には総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会合同での現地視察があり、小学校の改修工事や堆肥生産施設等を視察しました。

9日には、初日に町長から説明のあった議案の審議をした後、決算審査特別委員会が行われ、11日までの3日間にわたり全会計の歳入歳出決算を審査し認定すべきものと決しました。

平成26年度決算
認定するが健全財政へ向け課題も

【一般会計の内訳】

民生費 8億8376万円

- ・高齢者福祉費 1億8607万円
- ・老人医療事務費 9930万円
- ・児童手当 6987万円



総務費 7億7321万円

- ・国際交流関連事業 2184万円
- ・タプコピアンプラザ及びTCV管理運営事業 1億1675万円
- ・ふるさと納税記念品 1336万円

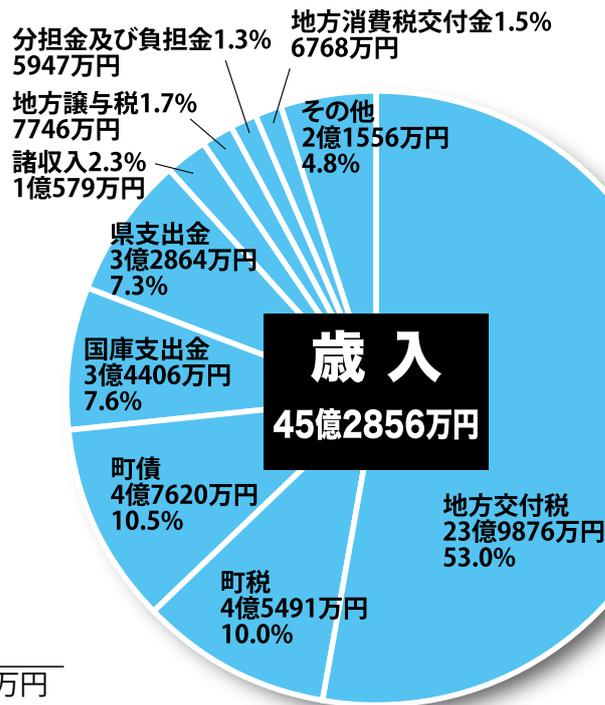
公債費 6億9853万円

- ・町の借金返済に使うお金



農林水産業費 4億1100万円

- ・自走式マニアスプレッダ購入 669万円
- ・田子牛産地地形形成事業費補助金 551万円
- ・にんにく総合振興費 3278万円



決算審査意見書(要旨)
行政上の効果を高める努力を

一般会計及び特別会計とも、予算の執行は効果的かつ適正に行われていると確認し、事業の執行もおおむね良好に進捗しており成果が認められる。

収入未済額において、町税及び国民健康保険税は減少傾向にあるが、町全体の会計では依然として大きな金額である。滞納整理の推進と県市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げ、適正な欠損処分処理を望む。そのためには市内の連携は勿論のこと、情報収集等に努め、より一層の協力が必要と思われる。

歳出については、交付税等の減少が進み、年々厳しさが増す昨今であり、健全かつ着実な財政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければならぬ。よって、今後の

消防費 1億5920万円

- ・消防水利施設設置工事 682万円
- ・屋外拡声器の新設工事 195万円



災害復旧費 1億1116万円



土木費 3億51万円

- ・道路の維持・新設改良の費用 1億5397万円
- ・除雪にかかる費用 8286万円
- ・住宅管理費 689万円

衛生費 4億2182万円

- ・インフルエンザ予防接種事業補助金 711万円
- ・墓園環境整備工事 254万円
- ・家庭ごみ（可燃・不燃）収集委託料 1018万円

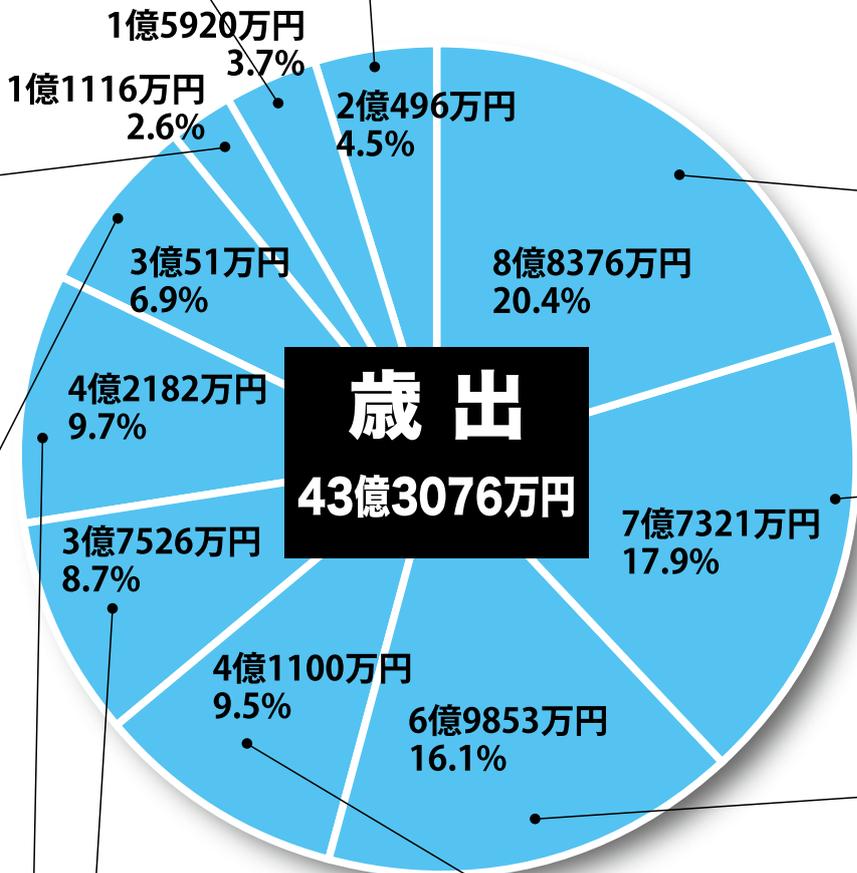
教育費 3億7526万円

- ・小・中学校の運営 7706万円
- ・幼稚園の運営 2826万円
- ・図書館の運営 1779万円



その他 2億496万円

- 商工費 1億1727万円
- ・にんにくとべごまつり補助金など
- 議会費 7732万円
- ・議会の運営にかかる費用
- 労働費 70万円
- ・雇用促進事業など
- 諸支出金 967万円



田子町監査委員

高沢靖直
日沢一雄

事務事業の予算編成及び予算執行に当たっては、町財政健全化計画及び本町のおかれている現実への認識を深め、行政上の効果を高めるよう努力していただきたい。特に他団体への補助金交付については、補助金交付申請書並びに決算書の精査を綿密に行い、適正な交付を望む。

特別会計に係わる事業運営では、後期高齢者医療、介護保険事業勘定に係る経費が年々増加傾向にあり、一般会計からの繰入金依存度を軽減するためにも予防医療事業に力を入れるなど創意工夫に努力されることを望む。

町の決算を審査

9月9日から11日までの決算審査特別委員会では、委員長に宇藤大介委員、副委員長に尾形憲男委員が選任され、議員全員が委員となり、平成26年度決算について審査を行いました。予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価します。
ここでは主な質疑を要約して掲載します。

歳出

コミュニティバス
運行委託料
2489万円

問 沢口委員
コミュニティバスについて、ダイヤや路線の変更がある場合はどのような仕組みになっているか。

答 中澤住民課長
大きな変更がある場合には毎年、学校関係者やバスの運行関係警察等の入っている総合公共交通協議会で協議をしている。

要望 沢口委員
本当に利用する方を入れてもらえないか。バスの時刻やダイヤが利用者の事を全く考えないで組まれているという声を聞く。少しでも使い勝手の良いようにしてもらいたい。

庁舎冷暖房設備
更新工事
3034万円

問 蹴揚委員
指名業者は何社か。
山本総務課長
2社です。

要望 蹴揚委員
競争指名入札は5社以上は必要ではないか。私の希望として、町外から入れて5社以上でやり、町民に誤解を招かない形をとるべきだ。

要望 沢口委員
三重県の紀宝町ではふるさと納税の返礼で町に滞在していただくというものがある。物をお返しするだけでなく、いろんなやり方を考えていただきたい。

集会施設外構
舗装工事
229万円

問 尾形委員
修繕の基準や優先順位はどのように決めているか。
中澤住民課長
基本的には指定管理契約に基づき、小さい修理は自治会で行い、半額を町が負担している。50万円以上の大規模修理の場合は、構成員1人あたり5000

答 山本町長
田子高校は普通高校でありながら、このような専門資格を取得できる。ぜひ受けて欲しいとお願いはしている。

平成27年度は4、5名の生徒が受けている。円の負担をしていた。時期については現場の緊急性があるかどうかを見ながら実施している。

ふるさと納税記念品
1336万円

要望 沢口委員
三重県の紀宝町ではふるさと納税の返礼で町に滞在していただくというものがある。物をお返しするだけでなく、いろんなやり方を考えていただきたい。

介護職員資格取得
講義委託料
176万円

問 尾形委員
田子高校生が学業と両立し資格を取得できるよう、相談しながら進めてはどうか。
山本町長
田子高校は普通高校でありながら、このような専門資格を取得できる。ぜひ受けて欲しいとお願いはしている。

答 山本町長
田子高校は普通高校でありながら、このような専門資格を取得できる。ぜひ受けて欲しいとお願いはしている。

平成27年度は4、5名の生徒が受けている。円

要望 尾形委員
高校生は日曜日に合わせるのが難しい現状だと思う。高校に合わせたスケジュール作りを要望する。

農業先進技術チャレンジ支援事業費補助金
58万円

問 日沢委員
何組利用し、その結果はどうなったか。
菊地産業振興課長
昨年は5グループが実施した。農業者からの実績報告はいたっていない。課内での検討は行われているが情報開示は思うように進んでいない。これからでも早めの内に情報発信を心がけていく。

答 菊地産業振興課長
昨年は5グループが実施した。農業者からの実績報告はいたっていない。課内での検討は行われているが情報開示は思うように進んでいない。これからでも早めの内に情報発信を心がけていく。

歳入

固定資産税
2億2527万円

問 尾形委員
毎年、不能欠損額や収入未済額がある。実際に住んでいないところにも固定資産税がかかっている。これが増えてくると思うが、対応をどのように考えているか。

答 山本町長
空き家対策と連動する。責任者が誰かを明確にし、税金がしっかり課税されることが大事だと思う。しかし、相続が決まらずもめているところは、我々も手が出ない。国の方とも相談をしながら解決方法をしっかりと要請もしながら方向性を定めていきたい。

審議結果

報告1件と認定1件、補正予算や条例改正など、9件の議案が提出され、審議しました。結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第7号	<p>専決処分した事件の承認 (町立田子診療所医療事故に係る示談契約及び損害賠償)</p> <p>2月19日に町立田子診療所で発生した医療事故(車いすからレントゲン透視台に患者を移動させるとき、左肩関節を骨折させたもの)について、示談契約を取り交わし損害賠償を行ったもの。</p>	承認
議案第44号	<p>田子町議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正</p> <p>地方自治法の一部を改正する法律により、関係条項を改正するもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第45号	<p>田子町個人情報保護条例の一部改正</p> <p>行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律において、地方公共団体が保有する特定個人情報の適正な取り扱いの確保等について規定されており、同法の趣旨に沿って改正するもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第46号	<p>田子町手数料条例の一部改正</p> <p>行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、再交付手数料を徴収するため改正するもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第47号	<p>田子町ふるさと納税基金条例の制定</p> <p>ふるさと納税制度で寄せられた寄付金を事業に活用していくため、地方自治法に基づき基金条例を制定するもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第48号	<p>平成27年度田子町一般会計補正予算(第2号)</p> <p>規定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3119万円を追加し、総額44億3132万7千円とするもの。</p> <p>○主な歳入補正 普通交付税の増、ふるさと納税の追加、基金繰入金の減など。</p> <p>○主な歳出補正 ふるさと納税記念品250万円、町道維持補修工事650万円、消防団広報車購入280万円など。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第49号	<p>平成27年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)</p> <p>国民健康保険税の減額などに伴い、規定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2130万8千円を追加し、総額11億8819万8千円とするもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第50号	<p>平成27年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)</p> <p>保険料徴収の増額などに伴い、規定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ19万3千円を追加し、総額6569万3千円とするもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第51号	<p>平成27年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)</p> <p>一般会計繰入金、基金繰入金の追加及び繰越金の減額などに伴い、規定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ972万1千円を追加し、総額10億3662万8千円とするもの。</p>	可決 (賛10・否0)
議案第52号	<p>平成27年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第2号)</p> <p>繰入金の減額、繰越金の増額などに伴い、規定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ468万2千円を追加し、総額5億8626万6千円とするもの。</p>	可決 (賛10・否0)
認定第1号	<p>平成26年度田子町各会計歳入歳出決算の認定について</p>	認定 (賛10・否0)

一般質問



議員 欠端則夫

若者の結婚促進

【質問1】

独身の若者の多さも人口減少の一因では。町には独身の20才から50才は何人位いるか。

【町長答弁】

住民基本台帳では昨年4月の時点で、20代では男性186人、女性163人、30代では男性190人、女性107人、40代では男性173人、女性129人。どの年代でも独身率が高くなっている。

【質問2】

町では知り合う機会をつくる手伝いをどうしているか。他町村とも協力してほしい。

【町長答弁】

昨年は、田子町後継者育成協議会（通称・タンポポの会）が「にんにく収穫交流会」「クリスマスコン」を開催し、町としては補助金を交付し支援。平成27年度からは「縁結びプランナー登録と縁結び報奨金支給事業」を開始した。近隣の町とも相談し進めていく。

田子牛増頭に 大胆な方策を

【質問1】

6月定例会の他議員の質問に対し、肥育事業創設から5年後の目標頭数を156頭から250頭へ増頭と答えた。主な生産者は増頭できないとのことだった。

だが、その算出根拠は。

【町長答弁】

平成25年2月の頭羽数調査の数値を基礎とした。その時点の肥育農家及び肥育頭数は12戸で156頭。事業計画策定にあたり農家からの聞き取り調査をした結果から、5年後の農家は21戸、頭数は2

50頭に増頭するという目標を掲げた。

【質問2】

ふるさと納税やアンテナショップ等で売り先は増えそうだが、牛は牛舎不足や価格高騰で増えそうにないが対策は。

【町長答弁】

肥育素牛基金の運用などを再検討し、安価なえさの生産、間伐材の有効活用による設備投資の負担軽減を検討する。当面は考えながら進めていきたい。

【質問3】

田子牛やたっこにくという町の顔のために、もっと大胆な方策をやる気はないか。

【町長答弁】

シンボリックな事業はアドバルーンを上げるように提示するだけでは対応できない。しつ

町有林の把握は

【質問1】

町有林の手入れが進んでいない。また、境界線がはっきりしない所があると聞いた。標示等の対策は。

【町長答弁】

2000ヘクタールを超える町有林をできる限り手入れを行うようにし、境界石の確認を進めている。

【質問2】

土地森林や建設等の係は複数の人が知っていなければならぬが人事等の考えは。

【町長答弁】

その通りだと思う。人事については工夫と研究をし取り組む。



増頭の対策が急がれる田子牛

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。9月定例会では議員3人が一般質問を行いました。



沢口博二 議員

町長選挙に向け

【質問1】

一期を過ぎようとしているが、ご自身の自己評価と次期に向けての抱負をお聞きしたい。

【町長答弁】

自己評価は70点程度と認識している。次期への抱負は、持続可能な地域、魅力と活力、競争力に溢れた地域と産業を形成する事を目標としている。

医師確保の状況は

【質問1】

医師問題につき、その後の県、三戸町との話し合いの状況は。

【町長答弁】

3月、4月に連携会議が開かれて以来、その

後は開催されていない状況である。

【質問2】

今後の課題があれば、それもお知らせ願う。

【町長答弁】

今後の課題としては、ブロック医療体制が思うように進まなければ、田子町独自の医師の確保を急がなければならぬと考えている。そのため、医師の求人サイトへの掲載等、医師確保の努力をしまいたい。

私道の管理は

【質問1】

私道の扱いにつき、町はどのようにとらえているのか。

【町長答弁】

原則として私道の維持管理はあくまで所有者、利用者が行うべきものと考えている。

【質問2】

町道として位置づけるつもりはないか。

【町長答弁】

筋道としては、私道は個人のものであり、所有者、利用者の協議なしで一足飛びに町はどうなんだ、という協議にはならない。

【質問3】

町道昇格には、何が問題なのか。

【町長答弁】

限りある予算をどう

活用すべきか、会議の設置等を視野に入れ、検討すべきだと考えている。

アンテナショップ

【質問1】

アンテナショップの運営体制、方針、出店者等をお知らせください。

【町長答弁】

運営は、東京のコンサルタント会社に委託

し、そこがすべての業務を行う事となっている。出店者は、現在10社ほどで、農産物の提供者は25名程となっている。方針としては、

田子町の情報発信、PR等に努め、店舗以外へのビジネスチャンス場として生かしていきたいと考えている。

【質問2】

北海道とある町との共同出店のようだが、近隣町村との協同は考えていないのか。

【町長答弁】

委託先の会社が厚沢部町（あつさぶちょう）の事業も手がけており、共同運営の打診があったため、そのようにした次第である。近隣の連携も、当初から計画に入れてあり、時期をみながら、その協議を進めて参りたいと考えている。



町独自の医師確保を進めている田子診療所



アンテナショップ「青森県たっこまち」



山崎美代志 議員

田子高校の 存続に向け

【質問】
県教委への要望活動
など、田子高校存続に

向けて町独自の支援策
は。

【町長答弁】
今回の中間まとめの
発表を受けて「次代の
子どもたちの教育環境



田子高校郷土芸能部の神楽坂公演（東京都）

を考える懇話会」で各
校PTA会長等にも出
席いただき、ご意見を
伺いながら話を進めて
いきたい。

田子高校へのこれま
での支援は継続し、特
に郷土芸能部の公演で
町を広くアピールして
くれており、さらに支
援して参りたい。

図書館の民営化

【質問1】

町立図書館の民営化
の取り組みについて、



約3万6000冊の本が
ある町立図書館

先進地に学ぶ考えはあ
るか。

【町長答弁】
公立図書館への指定
管理制度の導入は全国
的に拡がりをみせてい
ることから、今後、先進
事例を基に、調査・研究
等を進めて参りたい。

田子診療所の 状況は

【質問】

町立田子診療所にお
ける、毎週金曜日の午
後の診察が休診となっ
ているが、その実状を
伺う。

【町長答弁】
午後の休診をなんと
か回避するため、三戸
中央病院からは医師を
派遣していただくよう、
引き続き要望して参り
たい。

ごみの減量

【質問】

ごみの減量に取り組

むための施策は。

【町長答弁】
町としては、ごみの
減量化や資源物の分別
を行うよう、心がけや
活動についての普及啓
蒙を中心に進めていき
たい。

要望への対応は

【質問】

町民から出された生
活環境の整備について
の要望に対してどのよ
うに対処しているか。

【町長答弁】

町民からの要望は多
岐多数にわたるが、す
ぐ対処できるものは時
間をかけず対応し、対
処に時間がかかるもの
は少し待ってもらいな
がら対応して参る。

第6次総合計画の 進捗状況は

【質問】

第6次田子町総合計
画の進捗状況と併せて

町長の考える各施策の
基本方針を伺う。

【町長答弁】
総合計画の基本構想
案並びに前期5カ年実
施計画案がまとまった
ら、協議の場を設けて
参りたい。

たっこにんにく 地域団体商標は

【質問】

たっこにんにくの地
域団体商標の更新に向
けた事務的な作業の進
捗状況は。

【町長答弁】

近々、田子町と八戸
農協の合意形成のため、
協議の場を設けること
としている。
また、必要な事務作
業と手順を確認するた
め、事務担当者同士の
協議も実施する予定だ。

議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会への参加、先進地視察を行っています。

事務事業調査

○実施日 8月17日

委員会を開催し、

所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課関係】

県立高等学校将来構想検討会議の中間まとめ概要説明を受け、8月中旬に町の考案を県に提出するとの報告を受けた。委員会からは、田子高等学校存続に向けて遅れをとらず進めるよう要望。

【住民課関係】

田子小学校のテラス改修工事や、上郷小学校の屋上防水工事など、大きなものは終了し、残りも早期に終了予定。田子中学校グラウンド改修工事は11月20日までの工期。給食センターの空調設備更新工事は完了済み。

授業や通学に影響の無いように工事を行うことを要望。

現地調査

○実施日 9月8日

田子小学校のテラス改修工事や、上郷小学校の屋上防水工事など、大きなものは終了し、残りも早期に終了予定。田子中学校グラウンド改修工事は11月20日までの工期。給食センターの空調設備更新工事は完了済み。

授業や通学に影響の無いように工事を行うことを要望。

田子高校存続に向け遅れの無いよう

総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員
椛本義見委員 澤口勝委員

【政策推進課関係】

田子町長期人口ビジョン案を策定しており、国立社会保障人口問題研究所の予想では、45年後の田子町の人口は1890人で、この人口を町の政策等でどれくらい増やせるか案を

【税務課関係】

年度の8月と比較すると約3倍となっている。寄付者が利用しやすいように、外部委託やカード決済を検討している。



田子小学校テラス改修工事の現地視察

産廃跡地の有効利用を

産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員
欠端則夫委員 山崎美代志委員

事務事業調査

○実施日 8月19日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所・老健の運営】

2月の医療事故の示談の説明があり、今後の業務につき注意をしたとの報告があった。

【健康増進課 社会福祉関係】

9月補正で介護保険システムの改修委託、せせらぎの郷のエアコン更新工事につき計上しているとのこと。

【住民課関係】

臨時給付金、子育て給付金等の説明があった。また、産廃跡地の土地利用を考

事務事業調査

○実施日 8月19日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【建設課関係】

世紀越えトンネルの計画検討資料作りを委託している。また、除雪ドーザー購入につき、入札が終わり、(株)KCMJ東北が落札したとの報告があった。

【産業振興課関係】

9月補正で介護保険システムの改修委託、せせらぎの郷のエアコン更新工事につき計上しているとのこと。

【住民課関係】

臨時給付金、子育て給付金等の説明があった。また、産廃跡地の土地利用を考

事務事業調査

○実施日 9月8日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【建設課関係】

世紀越えトンネルの計画検討資料作りを委託している。また、除雪ドーザー購入につき、入札が終わり、(株)KCMJ東北が落札したとの報告があった。

【産業振興課関係】

9月補正で介護保険システムの改修委託、せせらぎの郷のエアコン更新工事につき計上しているとのこと。

【住民課関係】

臨時給付金、子育て給付金等の説明があった。また、産廃跡地の土地利用を考



舞手扱ヶ平線道路改良工事の現場視察

飽きられない 議会だよりを

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員
尾形憲男委員 沢口博二委員

協議

○実施日 8月25日

9月4日開会の平成27年田子町議会第3回定例会の議事日程等について、協議した。

広報委員会

○実施日 7月15日

議会だより第83号・第84号合併号の内容を確認し、誤字・脱字や、レイアウトについて校正した。委員から、議会だよりについて町民の皆さんの意見や感想を反映させるため、アンケート調査を実施してはどうか。書体についてなど意見が出されましたので、検討していくことにした。

○実施日 7月21日

前回の修正点を確認するとともに、再度、内容や誤字・脱字がないか確認を行った。

委員から、頑張っている農家の青年や子どもたちなど、町民の方の特集を企画してはどうか。飽きない、

議会だより第83号・第84号合併号だよりの紙面作りの内容の意見が出されましたので、検討していくことになった。

○実施日 7月27日

県町村議会が主催で行った議会広報研修会に参加し、勉強してきた。

8月27日、県町村議会主催で行った議会広報研修会に参加し、勉強してきました。

議会情報を住民と共有！

8月27日、県町村議会主催で行った議会広報研修会に参加し、勉強してきました。

研修会は二部構成になってまして前半は「住民に読まれ、議会活動が伝わる」と題して、議会広報サポーターの芳野政明氏に講演していただきました。講演内容といたしました。では、「議会報の大切な役割」から「議会が住民に伝わる紙面作り」など原稿起こしから編集などのテクニクを学んできました。

後半は、同氏による「町村議会広報のクリニック」と題しまして現在、広報誌を発行している県下町村の中で5町村が選ばれ広報誌のクリニックを受けることになっており、我が「田子町議会だより」もその一つとしてクリニックを受けました。

以上の研修を受けたことを参考にして検討を重ね「住民に読まれ、議会活動が伝わる」議会だよりが発行出来るよう努力して参りたいと思っております。



議会広報サポーター 芳野政明氏

重点施策19項目を説明

増額を要望する。

地方創生の推進、人口減少克服対策



7月9日、青森市で県下町村議会議員研修会が開催されました。講師の三村知事が4期目のスタートにあたり19項目にわたる重点施策について講演されました。主な施策を要約して報告します。

地方財政施策の充実

地方交付税は本県にとって生命線であり、社会保障関係費が増加、臨時財政対策債の残高増による将来負担の不安等、安定した財政運営のために地方交付税

社会減対策として、生活基盤の仕事を充実させるため、農林水産業、医療、福祉、環境、エネルギー等、産業の創出、育成を推進。首都圏等から人材の移住、若者の県内定着の促進。また、自然減対策として、結婚や出産、子育てなどを地域をあげて支援、健康長寿県に向けた取り組みの促進。その他、地域医療の確保、充実と特定診療科等における医師不足の解消。次代を担う青年農業者の育成確保。農林水産品の輸出促進対策及び外国人観光客の誘客対策の強化等、有意義な研修会となりました。

早期着工に向け活動を推進

7月22日、国道104号田子町夏坂と、国道103号鹿角市大湯間のバイパスルート建設の早期着工に向けた活動の一環として今回、町建設課、八戸能代間

北東北横断道路整備促進期成同盟会の会員とバイパスルート現地踏査を実施しました。特に、今回の踏査に参加して実感したことは、秋田県鹿角市側の整備にかなりの時間と予算

が必要となることから、予想されることから、秋田県側の積極的な早期着工に向けた活動を推し進めていただきたいたいものだと思った次第です。

今後一層、田子町夏坂と鹿角市大湯間のバイパスルート建設の早期着工に向けたさまざまな活動を実施して参りたいと改めて感じました。



バイパスルート建設予定地を踏査

圏域のさらなる活性化を切望

8月22日、八戸市で開催された定住自立圏シンポジウムに参加しました。

定住自立圏の活動として、平成21年3月に地域力の創造、地方の再生をテーマに八戸市が定住自立圏中心市宣言をし、9月には近隣7町村との形成協定を締結しました。代表的な取り組みとしては、ドクターカー運行事業、ほっとスルメールの圏域拡大、路線バスの上

目指す意図で多様なニーズへの主体的な対応を可能にし、サービスの質の向上が狙いであるとのこと。第1部では、八戸市長による「八戸市の中核市移行

り市内300円上限化、圏域8市町村を繋ぐ路線では500円上限化）等が挙げられます。シンポジウムでは、八戸市を中核市とした連携中枢都市圏に向けた検討、協議の説明がなされ、要約すると、圏域内のさらなる行政サービスの強化と効率化を

県教委の新方針に町民の声を

8月31日に八戸市福祉会館で行われた、青森県教育委員会主催の青森県立高等学校将来構想検討会議におけるこれまでの検討状況(中間まとめ)に関する地区懇談会に出席し、西谷高等学校教育改革推進室長の説明を受けました。

年間で約530人減少をする予測を踏まえ、高校教育を受ける機会確保のため通学環境へ配慮しながら柔軟な高校配置をし、充実した教育環境の整備のため、6学級(240人)以上の重点校と、1つの専門学科で4学級(160人)以上の拠点校を設けるようです。

これからの方向性として、「青森県の未来を担う子供たちが夢や志の実現に向け成長できる高校教育」を目標に定め、生徒の多様な進路志望と生徒数減少への対応を課題とし、遅い心、学校から社会への円滑な移行に必要な力、郷土に誇りを抱き、青森県の未来を力強く支えようとする心の教育を重視することでした。

以上のような現状の説明の後、意見交換がなされ、30年度より新たな方針になることを、広く田子町民に理解していただく機会を要望し郡部、特に町民、子供の保護者、(幼保小中高校)の意見を聞く場を設けていただきたい旨要望しました。暮れにかけて説明会が開かれると思えますので町民皆様の直の声を届けてください。

また、三八地区の生徒数が平成29年から10

町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。

定例会の視聴は欠かしません



青森銀行田子支店 支店長
三國 学さん (50)

昨年12月から議会だよりが再開されました。ケーブルテレビでの議会放映はされているものの、活字での縦覧も希望されたためと聞いております。町民の町政への期待と関心の高さが伺えます。

さて、私事ではありますが、当町に配属されてから早いもので1年半が過ぎました。この間、町内の皆様には一方ならぬご厚情を頂き、感謝申し上げます。

私は赴任当初から議会はケーブルテレビ視聴と傍聴を欠かさずしております。私の職場職員も興味深いとして、視聴しており、しばしば、議会の内容が日常の話題にのびります。特に、興味を引くのは、農林畜産加工商業振興策、人

口減少抑制策、田子高校存続問題ですが、一住民の立場としてはもとより、一職業者として何ができるのかを念頭に聴き入っております。

最近、町内活動、行政事業各委員会を通じて役場役員様や町内事業者様と行政事業について語り合う機会も増えました。そして町の様子が分かるようになり、私たちに何が期待されているのか、ハッキリと見えてきました。

そして、きつと、住みよい町を創るという事は、選挙で責任ある一票を投じる事は義務とし、更に、議会傍聴、議員や役場役員との対話を積極的に持ちつづける事が必要なのだと確信致しました。

そんな事を考えているとふと、毎朝、カーラジオから流れる一文が、意味もなく、私の冠りをよぎるのです。

「暗いと不平を言うよりも進んであかりを点けましょう」

ありがとうございます。

三國支店長、お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございます。今後とも田子町議会をよろしくお願ひします。

編集後記

4月の改選を迎えて、新しい船出となりました我が町議会ではありますが、新しい2人の論客が増え、より快活な自身の濃い議論を日夜展開できることを非常に喜ばしく思っております。新委員長の宮村氏は、印刷業勤務の経験を生かし、レイアウト、脚色等、多彩なアイデアで紙面を構成し、よりわかりやすく読みやすい誌面作りに力を注いでおります。

今後におきましても、「広報たっこ」とは一線を画す議会専門誌として提供して参りますので、ご愛読よろしくお願ひいたします。

(宇藤大介)

議会広報編集委員会 (第85号)

委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 日沢 一雄
尾形 憲男
沢口 博二

執筆協力

欠端 則夫
山崎 美代志